

平成 21 年度 第 1 回アントレプレナーセミナー報告

日時: 2009 年 10 月 21 日(水) 15:00～17:00

場所: 工学部 大会議室

講師: 河崎 善一郎教授

(大阪大学大学院工学研究科電気電子情報工学専攻)

題目: まいど衛星宇宙へ

【講演概要】足かけ 8 年の歳月を経て完成した東大阪の人工衛星「まいど 1 号」は、2009 年 1 月 23 日午後 12 時 53 分、宇宙開発研究機構(JAXA)の種子島射場から、地球観測衛星「いぶき」の相乗り衛星として、無事宇宙空間へと旅立った。このまいど衛星、本体を製作する中小企業連合にとっても初めての挑戦なら、衛星の主ミッション装置を製作する大阪大学にとっても初めての挑戦であった。それだけに完成に至るまでの実質 7 年間の活動は、まさに山あり谷ありで、いまになって振り返ってみれば、よくぞ初期の目的を達成できたと、嬉しさよりも感慨が先に立つ程である。感傷はさておき、JAXA のマイクロラブサットという小型衛星を「模倣」したまいど衛星は、総重量 50kg の小型で地上 600km の高度から、雷放電に伴って放射される 100 万分の 1 秒にも満たない、継続時間の短いテレビ周波数帯の電波を、確実に受信する事に成功し、宇宙からの雷観測が可能である事を見事に証明した。そしてまいど衛星の成果は、宇宙ステーション「きぼう」での実験へと引き継がれている。今回の講演では、苦労話、裏話、そして夢の話を中心に紹介する。富山大学の教職員・学生および一般市民の方々を含む約 40 名の聴講がありました。

